「ナイスステップな研究者から見た変化の新潮流」

科学技術への顕著な貢献 2022 (ナイスステップな研究者) の選定

【概要】

科学技術・学術政策研究所(NISTEP)では、科学技術イノベーションの様々な分野において活躍され、日本に元気を与えてくれる 10 名の方々を「ナイスステップな研究者」として選定した。

科学技術・学術政策研究所 (NISTEP) では、科学技術イノベーションの様々な分野において活躍され、日本に元気を与えてくれる方々を「ナイスステップな研究者」として選定している。平成 17 年より選定を始め、過去にナイスステップな研究者に選定された方の中には、その後ノーベル賞を受賞された山中 伸弥教授(平成 18 年選定)や天野 浩教授(平成 21 年選定)も含まれている。

令和4年の選定においては、専門家ネットワーク (約1,700人) への調査で得た情報等により、最近の 活躍が注目される研究者約250名の候補者を特定し た。選定においては、研究実績に加えて、自然科学と 人文学・社会科学との融合等の新興・融合領域を含 めた最先端・画期的な研究内容、産学連携・イノベー ション、国際的な研究活動の展開等の観点から、所内審査会の議論を経て最終的に10名を選定した。

今年の「ナイスステップな研究者 2022」には、今後活躍が期待される若手研究者を中心に、AI技術を用いた人文学への応用研究、地熱資源に関する基礎研究及び実社会へのアプローチ、噴火による津波の発生メカニズムの解明といった現代社会の課題に密接に関わる研究など多岐にわたる分野において、研究活動のみならず様々な形で広く成果を還元されている方を選定している。

選定された研究者一覧は次ページに紹介する。今後、各研究者へのインタビュー記事を本誌に掲載していく。

科学技術・学術政策研究所 企画課

大臣表敬訪問の様子



(前列左から) 中川朋美氏、中原啓貴氏、井出副大臣、永岡大臣、山本大臣政務官、鈴木杏奈氏、津川裕司氏 (後列左から) 須藤総務研究官、古屋晋一氏、吉田慎哉氏、大嶋泰介氏、CLANUWAT Tarin 氏、久保田達矢氏、 杉原加織氏、佐伯所長

科学技術への顕著な貢献 2022 (ナイスステップな研究者) の一覧

- ○大嶋 泰介 Nature Architects 株式会社 代表取締役 CEO ユーザーが求める機能要件から必要な幾何形状を逆算して導き出す設計技術「Direct Functional Modeling (DFM)」を開発し事業化を進める
- OCLANUWAT Tarin Google Research Brain チーム Senior Research Scientist AI によるくずし字認識技術の開発と社会への展開
- ○久保田 達矢 国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター / 地震津波防災研究部門 特別研究員 地震にとどまらない、さまざまな要因で起こる津波 沖合津波観測データと津波シミュレーションから切り拓く津波の発生と伝播のメカニズム -
- ○杉原 加織 東京大学生産技術研究所 講師 工学系研究科化学システム工学専攻 脂質を使ったバイオエンジニアリング
- ○鈴木 沓茶 東北大学流体科学研究所 准教授 地熱資源の持続的利用と地域共創のためのデザイン 数理情報の活用から waku × waku へ -
- ○津川 裕司 東京農工大学グローバルイノベーション研究院 テニュアトラック准教授 代謝物の多様性とその生物学的意義を明らかにする新たなデータサイエンス研究を創出
- ○中川 朋美 南山大学人類学研究所 博士研究員 奈良文化財研究所 客員研究員 考古学から見る過去と未来 - 3D データの構築と活用-
- ○中原 啓責 東京工業大学工学院情報通信系 准教授
 Tokyo Artisan Intelligence 株式会社(東京工業大学発ベンチャー)代表取締役社長
 深層学習(ディープラーニング)高速処理専用大規模集積回路(LSI)の研究開発
- ○古屋 晋一 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー 一般社団法人 NeuroPiano 代表理事 音楽演奏の技能と創造性の限界突破 −総合知で取り組む文化の持続可能な発展の実現 −
- ○吉田 慎哉 芝浦工業大学工学部機械機能工学科 准教授 飲み込み型 (可食型) デバイスの研究開発 飲むだけで身体の調子や体内環境を測定できる未来を目指して -

(五十音順・敬称略) (所属は令和4年12月20日時点)